



操作マニュアル Ver5. 1

ジェービーエムエンジニアリング株式会社

目次

1. データ送信.....	1
カーソルでファイル名を選択して送信.....	1
直接ファイル名を入力して送信.....	2
繰り返し送信.....	3
オールデータ送信.....	4
スケジュール送信.....	5
2. データ受信.....	7
複数プログラムのデータ受信.....	8
3. データ表示.....	9
カーソルでファイル名を選択して表示する.....	9
直接ファイル名を入力して表示する.....	10
4. ファイルの表示と並び替え.....	11
5. ファイルコピー.....	12
1 ファイルコピー.....	12
① 同じファイル名でコピーする.....	13
② 別のファイル名でコピーする (ファイル名変更).....	14
2 ALLコピー.....	15
6. ファイル削除.....	17
1 ファイル削除.....	17
① カーソルでファイル名を選択して削除する.....	17
② 直接ファイル名を入力して削除.....	18
2 ALL削除.....	20
7. ファイル検索.....	22
8. マザトロール対話CMT対応.....	23
9. ディレクトリ : フォルダについて.....	25
10. 日時の設定変更.....	26
11. ディレクトリ変更.....	27
12. パラメータ.....	27
13. USBメモリのフォーマット形式.....	27
14. USBび〜太郎のパラメータ設定.....	28
15. アラーム表.....	29
16. USBび〜太郎の主な仕様.....	30
免責.....	31
警告.....	31

USBぴ〜太郎の操作

USBぴ〜太郎は起動（初期表示）してからUSBメモリを挿入してください。
USBぴ〜太郎は512MBの内蔵メモリを持ち、（1-9）のディレクトリと
USBメモリ＝（0）へデータを保存することができます。

詳しい説明・操作についてはWEBに記載されてます。

データのバックアップは必ず行なってください。

【データ送信】

USBメモリから工作機械へデータ送信する場合、USBぴ〜太郎にデータの入った
USBメモリを挿入します。

電源を入れて20秒ほどすると下記の画面が表示されます。

【初期画面】

送信モード表示→	OUT SEL	>00001	ディレクトリ内の ファイル名の表示
使用ディレクトリ表示→	USB	00002	
データ本数の表示→	F: 6	00003	
残り容量の表示→	R: 3.7G	00004	

データ送信にはカーソルでファイル名を選択する方法と直接ファイル名を入力する
方法があります。

<カーソルでファイル名を選択して送信>

ファイル名：00003を送信するには

 キーを押して、 キーを2回押して

カーソル>を00003に合わせます。

、 キーを押します。

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 3.7G		00004

ファイル名：00003の送信待機中の画面になったら工作機械側のデータ入力操作をしてください。

送信待機中

OUT	RUN	P:DEFAULT
USB		00003
00000000		00008234
■		送信文字数

USBぴ〜太郎から工作機械へデータ送信を完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

OUT	END	P:DEFAULT
USB		00003
00008234		00008234
*****	END	*****

<直接ファイル名を入力して送信>

ファイル名：00003を送信するには



キーを押して、



キーを押すと

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 3.7G		00004

ファイル名入力画面に

Input file name: の表示が出ます。

ファイル名：00003を送信するには



キーを入力後、



キーを5回続けて押し

てください。

[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら

Input file name:
■



キーを3回、



キーを1回入力して

ください。

Input file name:
00003 ■



キーを押します。

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		00003
09/07/20		00008234
%		

ファイル名：00003の送信待機中の画面になったら工作機械側のデータ入力操作をしてください。

送信待機中

OUT	RUN	P:DEFAULT
USB		00003
00000000		00008234
■		送信文字数

USBび〜太郎から工作機械へデータ送信を完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

OUT	END	P:DEFAULT
USB		00003
00008234		00008234
*****	END	*****

<繰り返し送信>

指定されたプログラムを最後までデータ出力後、終了処理をせず同じデータを繰り返し送信します。
(初期値=0)

パラメータ No.16 : オートリワインド機能を1に変更することにより可能

<オールデータ送信> オール受信機能の付いている工作機械であること

USBぴ〜太郎のフォルダ内かUSBメモリ内にあるプログラムをオールデータ送信します。

但し、工作機械にオール受信機能がついていることとメモリの空き容量があること
オール受信機能が付いていない工作機械の場合、1本のファイルの中にまとめて入ります。



送信キーに続いて



アップキーを押してください。

カーソルが最下段の [ALL] に移動します。

OUT	SEL	00004
USB		00005
F: 7		00006
R: 3.7G		>[ALL]



セット、スタートキーを押します。

データ受信の待機画面になりましたら
工作機械からデータ受信操作をしてください。

OUT	RUN	P:DEFAULT
USB		00003
00000000		00008234
■		

USBぴ〜太郎から工作機械へデータ送信を
完了すると*** END ***の表示になりますので



リセットキーを押して初期画面に戻してください。

OUT	END	P:DEFAULT
USB		00006
000689486		000689486
*****	END	*****

<スケジュール送信>

※バッファのない古い工作機械や機械の仕様等で正常に送信出来ない場合があります。

USBび〜太郎のフォルダ内かUSBメモリ内にある複数ファイルを指定した順に 1 本のプログラムに連結して送信します。 先頭の%と末尾の M30・%はそのままに中間にある (M02、M30、%) は削除して送工作機械に送信します。

*本数に制限はありません。

【初期画面】

送信モード表示→	OUT SEL	>00001	ディレクトリ内の
指定ディレクトリ表示→	USB	00002	ファイル名の表示
データ本数の表示→	F: 6	00003	
残り容量の表示→	R: 3.7G	00004	



送信モードから送信キーを押して、スケジュール送信モードにします。

スケジュール送信モード表示→

SCHEDULE	>00001
USB	00002
F: 6	00003
R: 3.7G	00004

ファイル名 : 00001,00002,00003 をスケジュール送信するには



キーをファイル名 : 00001 に合わせて




キーを押します。

スケジュールリングされたら*印が付きます。



ファイル名 : 00002 と 00003 に、キーでスケジュールリングします。


SCHEDULE	*	>00001
USB	*	00002
F: 6	*	00003
R: 3.7G		00004

スケジューリングが確定したら  キーを押します。

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		SCHEDULE
[1] 00001		

 キーを押すと左下に [2] 00002

[3] 00003 の確認表示が出ます。

それであれば  キーを押して送信待機状態にして工作機械側のデータ入力操作をしてください。

訂正、変更するには  キーを押してやり直してください。

【データ受信】

工作機械からUSBメモリへデータを受信する場合、電源を入れて20秒ほどすると下記の画面が表示されます。

USBび〜太郎にデータの入ったUSBメモリを挿入します。

【初期画面】

送信モード表示→	OUT	SEL	>O0001	ディレクトリ内の ファイル名の表示
指定ディレクトリ表示→	USB		O0002	
データ本数の表示→	F: 6		O0003	
残り容量の表示→	R: 3.7G		O0004	

ファイル名：O1000を受信するには




キーを押してください。

表示が受信モード・・・**IN**

データ本数・・・**7**に変わります。

IN	SEL	>O0001
USB		O0002
F: 7		O0003
R: 3.7G		O0004

続いてキーを押すとファイル名入力画面に

Input file name: の表示が出ます。

Input file name: ■



キーを入力後、



キーを5回続けて押して

ください。

[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますのでOの文字が表示したら



キー入力後、



キーを3回入力して

Input file name: O1000 ■



キーを押します。

データ受信の待機画面になりましたら
 工作機械からデータ送信操作をしてください。

```

IN   RUN   P:DEFAULT
USB                O1000
00000000         New File
■
  
```

工作機械からUSBぴ〜太郎へデータ送信を
 完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

```

IN   END   P:DEFAULT
USB                O1000
00008234         New File
*****  END  *****
  
```

*ディレクトリ内に同名ファイルが既に存在する時は、Over write?
 [Yes] Noの表示が出てきます。上書きする時は [Yes] しない時は [No] を



、 キーで選択して キーで決定してください。

<複数プログラムのデータ受信> FANUC形式 (O番号に続いて4桁数字) のみ

工作機械のメモリ内にあるプログラムを複数出力、もしくはオール出力されたものを
 1プログラムずつ分けて保存し、保存したプログラムを1本ずつ送信することができます。



キーに続いて



キーを押してください。

```

IN   SEL      O0004
USB                O0005
F: 7              O0006
R: 3.7G          >[ALL]
  
```

カーソルが最下段の [ALL] に移動します。



、 キーを押します。

```

IN   RUN   P:DEFAULT
USB                ALL IN
0
■
  
```

データ受信の待機画面になりましたら
 工作機械からデータ送信操作をしてください。

工作機械からUSBぴ〜太郎へデータ送信を完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

IN	END	P:DEFAULT
USB		ALL IN
000689486		
*****	END	*****

【データ表示】

＜カーソルでファイル名を選択して表示する＞

ファイル名：00003をデータ表示するには初期画面から



キーでカーソル>を00003に合わせます。

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 3.7G		00004



キーを押します。

指定ディレクトリ →
データの保存日 →
データの先頭行 →

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		00003
09/07/20		00008234
%		

ディレクトリ内の
←ファイル名
←データの文字数

USBメモリ内のファイル名

: 00003の先頭行が表示されます。(例 %)



キーを続けて押すと2行目、3行目・・・最終行まで表示します。



キーで逆戻り、



キーで最終行へジャンプします。

再度、



キーを押すと先頭行へ戻ります。

<直接ファイル名を入力して表示する>

ファイル名：00003をデータ表示するには初期画面から



キーを押します。 ファイル名入力画面に

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 3.7G		00004

Input file name: の表示が出ます。

ファイル名：00003をキー入力するには



キーを入力後、



キーを5回続けて押して

ください。

[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら

Input file name:



キーを3回、



キーを1回入力して

Input file name:

00003 ■



キーを押します。

USBメモリ内のファイル名：00003の

先頭行が表示されます。(例 %)

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		00003
09/07/20		00008234
%		



キーを続けて押すと2行目、3行目・・・最終行まで表示します。



キーで逆戻り、



キーで最終行へジャンプします。

再度、



キーを押すと先頭行へ戻ります。



キーで横移動も可

【ファイル表示】

< 8文字以上のファイル名の表示確認 >

ファイル名：1 2 3 4 5 6 7 8 ABの8文字目以降のABを表示する場合



キーでファイル名：1 2 3 4 5 6 7 8の位置に合わせます。

OUT	SEL	O0001
USB		O0002
F: 6		>12345678
R: 3. 7G		O0004



キーを押すたびに1文字ずつ右に移動します。



キーを押すと左に1文字ずつ移動します。

【ファイルの並び替え】

指定されたディレクトリ内のファイル表示の並び替えをします。
数字、アルファベットの順に「降順・昇順・元に戻す」ことができます。



送信モード、



受信モードを選んでください。

画面右に表示されますデータ本数・・・100本の場合（O0001～O0100）



キー：昇順を押します

昇順（数字0～9、→アルファベットA～Z）

OUT	SEL	O0001
USB		O0002
F:100		O0003
R: 3. 7G		O0004



キー：降順を押します。

降順（アルファベットZ～A、→数字9～1）

OUT	SEL	O0100
USB		O0099
F:100		O0098
R: 3. 7G		O0097



キー：元に戻る

【ファイルコピー】

ファイルコピーには1ファイルコピーとディレクトリまるごとALLコピーがあります。

<1ファイルコピー>

例 USBメモリ内の00001をディレクトリ9（DATA-9）にコピーします。

コピー元：USBメモリ（ディレクトリ=0）を選択します。



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ?	(0 - 9)



コピー元を押します。

: USBメモリ（ディレクトリ=0）を選択します。



キーを押します。

コピーモード→

コピー元→

COPY	SEL1	>O0001
*USB		O0002
		O0003
		O0004



キーでカーソル>を00001に合わせます。



キーを押します。

コピー先→

COPY	SEL2	>O0001
USB		O0002
*USB		O0003
		O0004

コピー先：**SEL2 (*USB)** を
ディレクトリ9（DATA-9）に変更します。



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ?	(0 - 9)

<ALLコピー> ファイル本数や1本のデータ容量が大きい場合、時間がかかります。

例 USBメモリ内のデータ全てをディレクトリ9 (DATA-9) にコピーします。

コピー元: USBメモリ (ディレクトリ=0) を選択します。



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		



キー コピー元を押します。

: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。 データ本数→

OUT	SEL	>O0001
USB		O0002
F:100		O0003
R:3.7G		O0004



キーを押します。

コピーモード→

コピー元→

COPY	SEL1	>O0001
*USB		O0002
		O0003
		O0004



キーを押します。

COPY	SEL1	O0098
*USB		O0099
		O0100
		> [ALL]



キーを押します。

コピー先→

COPY	SEL2	>O0001
USB		O0002
*USB		O0003
		O0004

コピー先:SEL2 (***USB**) を
ディレクトリ9 (DATA-9) に変更します。



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		



コピー先を押します。

: DATA-9 (ディレクトリ=9) を選択します。
コピー先→

COPY	SEL2	
USB		Not Found
* DATA-9		



キーを押します。

コピー元→
コピー先→

COPY	STOP	P:DEFAULT
USB		ALL COPY
DATA-9		

コピー元 : USBメモリ内のデータ全て
コピー先 : DATA-9へ ALLコピーします。



* 確認して良かったら **スタート** キーを押します。

完了すると*** END ***の表示になりますので

COPY	END	P:DEFAULT
USB		ALL COPY
DATA-9		
*****	END	*****



キーを押して初期画面に戻してください。



* 良くないときは **リセット** キーを押してやり直してください。

【ファイル削除】

ファイル削除には1ファイル削除とディレクトリまるごとALL削除があります。

< 1ファイル削除 >

1. カーソルでファイル名を選択して削除する場合

例 USBメモリ内のファイル名：00001を削除します。



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ?	(0 - 9)	



キーを押します。

: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。

OUT	SEL	>00001
USB		00002
F: 6		00003
R: 3.7G		00004

削除モード→



キーを押し、



キーで

カーソル>を00001に合わせて

DELL	SEL	> 00001
USB		00002
		00003
		00004



キーを押して、

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		00001
09/07/20		37628
%		



キーを押します。

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		00001
09/07/20		37628
Sure?	[Yes]	No

削除する場合は

[Yes]でそのまま  キーを押してください。

DEL	END	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
*****	END	*****


削除しない時は  キーを押して

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
Sure?	Yes	[No]

[No]にして  キーを押して


やり直してください。

2. 直接ファイル名を入力して削除する場合

 キーを押します。

Drive No. ? (0 - 9) の表示がでたら


OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ?	(0 - 9)	

 キーを押します。

: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。

OUT	SEL	>O0001
USB		O0002
F: 6		O0003
R: 3.7G		O0004

削除モード→

 キーを押します。

DELL	SEL	> O0001
USB		O0002
		O0003
		O0004



キーを押して ファイル名入力画面に

Input file name: の表示が出たら
ファイル名: 00001 をキー入力してください。



ファイル名: 00001 をキー入力するには



キーを入力後、



キーを5回続けて押してください。

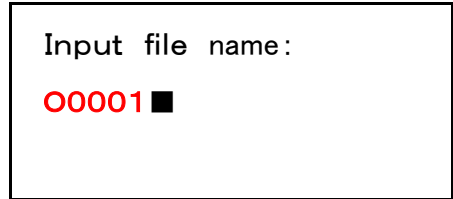
[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら



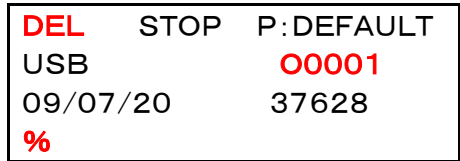
キーを3回、



キーを1回入力して



キーを押し



キーを押します。

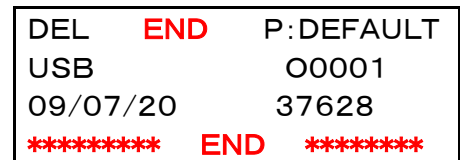


削除する場合は

[Yes]でそのまま



キーを押してください。



削除しない時は

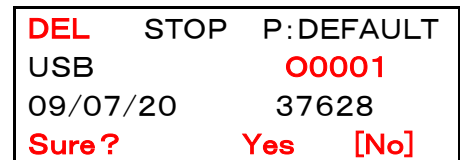


キーを押して

[No]にして



キーを押して



やり直してください。

<ALL削除>

例 USBメモリ内のデータ全てを削除します。



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ?	(0 - 9)	



キーを押します。

: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。

OUT	SEL	>O0001
USB		O0002
F:100		O0003
R: 3.7G		O0004

削除モード→



キーを押し、

DELL	SEL	> O0001
USB		O0002
		O0003
		O0004



キーを押すとカーソルが **[ALL]** に移動します。

DEL	SEL	O0098
USB		O0099
		O0100
		> [ALL]



キーを押すと、ALL削除をしますか?と

表示が出ますので
削除する場合は

DEL	SEL	O0098
USB		O0099
		O0100
DEL	ALL?	[Yes] No

[Yes] でそのまま  キーを押して

ALL DEL の表示になったら

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		ALL DEL



キーを押します。

*ALL 削除する場合は



[Yes]でそのままキーを押してください。

完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。



*削除しない時はキーを押して



[No]にしてキーを押して

やり直してください。

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		ALL DEL
Sure?	[Yes]	No

DEL	END	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
*****	END	*****

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
Sure?	Yes	[No]

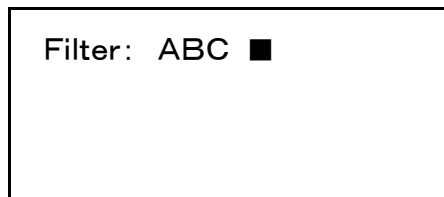
【ファイル検索】

USBび〜太郎の内蔵ディスクやUSBメモリにはたくさんのファイルが保存できます。どこへ保存したのかを探すのにこの検索機能が便利です。

ファイル名：ABCを検索するには初期画面から



キーを押すと検索 (Filter: ■) が表示されます。



ABCを入力後、キーを押します。

ABCの名前の付いたファイル名が画面上に表示されます。

(USBメモリ内の検索)



キーのあと



キーを押します

(DATA-1内の検索)



キーのあと



キーを押します

〈検索を解除する場合は〉



キーを押して検索文字を



キーで削除して



キーを押してください。

【マザトロール対話CMT対応】 Ver 4. 5. 10から

MAZAKマザトロール対話データ（CMT）の入出力ができます。

リモート機能には対応していません。

（T-1/M-1から……640T/640M）とのロード（入力）、セーブ（出力）機能に対応します。

*マザトロールT-1：パラメータをMZ-T1M1に設定します。

*マザトロールT-1以外の機種：MZ-T2M2に設定します。

マザトロール対話専用パラメータ（MZ-T1M1, MZ-T2M2）に設定変更します。

電源をONにして初期画面を表示させます。



キーを押します。

```
PRM  SEL  >DEFAUUT
      USER096
      USER192
      USER384
Ver5. 1. 3. 6
```



キーでカーソルを**MZ-T2M2**に合わせます。

```
PRM  SEL  USER192
      USER384
      MZ-T1M1
Ver5. 1. 3. 6 >MZ-T2M2
```



キーを押すと、マザトロール対話用のパラメータ内容が表示します。

```
PRM  STOP P:MZ-T2M2
> 0 = MZ-T2M2
  1 = 1
  2 = 4800
```



キーを押して設定変更します。

完了すると***** END *****の表示になりますので

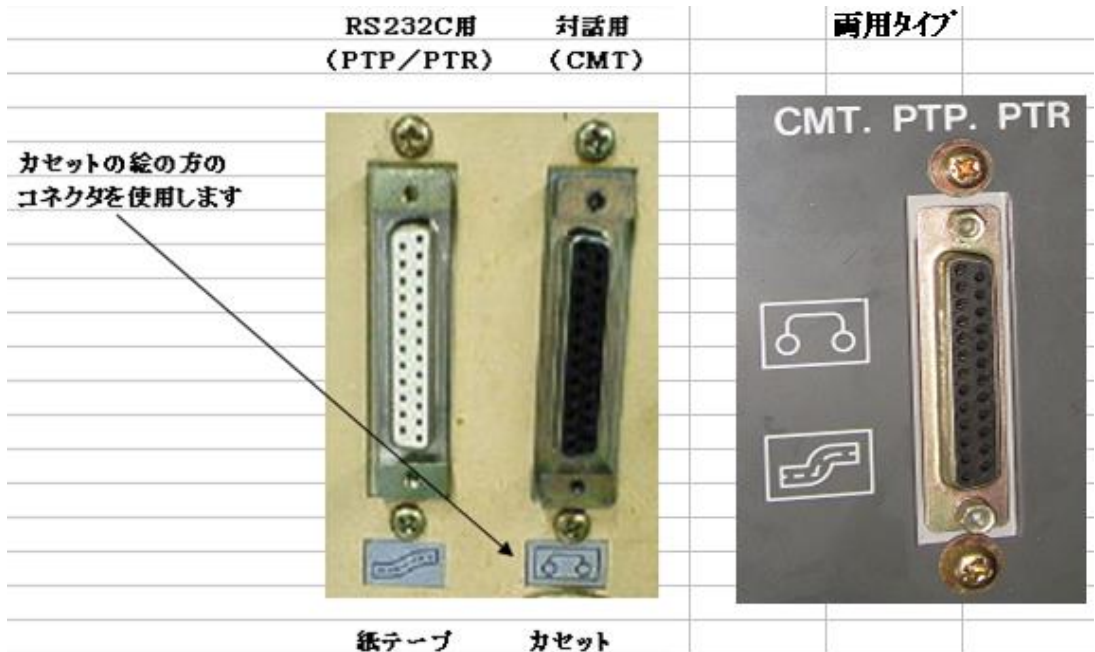
```
PRM  END P:MZ-T2M2
***** END *****
```



キーを押して初期画面に戻してください。

```
OUT  SEL  >O0001
USB           O0002
F: 6         O0003
R: 3. 7G    O0004
```

マザトロール対話(CMT)の通信設定は<DV1>で通信速度:4800ボーレートで設定します。
マザトロール (CMT) はカセットの絵の方を使用します。



注意

1. 対話プログラムは上位互換になっていて古い機種 of 対話プログラムを新しい機種で読み込みはできますが逆はできません。
2. 工作機械に上記のDB 25コネクタが付いていない機種は通信できません。
USBポートしか付いていない機種はメーカーオプション:Bプロトコルが必要です。
(ジェービーエムエンジニアリング (株) では対応してません)
詳しい説明はマザックテクニカルセンターへ問い合わせてください。


【ディレクトリ：フォルダについて】

USBび〜太郎 Ver5.1.3.6 からキー操作でサブディレクトリでの読み込み／書き込みができるようになりました。

*注意点として

- ①USBび〜太郎本体でディレクトリ：フォルダ作成はできません。
- ②ディレクトリ名はアルファベット、数字、記号以外は表示できません。
(平仮名、カタカナ、漢字は???や文字化けして読めません)
- ③ディレクトリ内のプログラムの1ファイルコピー、ALLコピーはできますがディレクトリ丸ごとコピーはできません。

USBメモリのデータがサブディレクトリ TEST1、TEST2、TEST3 にある場合

ファイル選択モードの時に、キーを押すと次のような画面になります。

現在のディレクトリ→

[DIR]	>System Vo
USB	TEST1
ROOT	TEST2
	TEST3

[DIR]	System Vo
USB	>TEST1
ROOT	TEST2
	TEST3



キーでカーソルをサブディレクトリ TEST1 に下げて



キーを押すと次のような画面になり入出力操作ができます。

OUT	SEL	>00001
USB		00002
F: 6		00003
R: 3.7G		00004



キーを押せばルートに戻ります。

【日時の設定変更】

USBび〜太郎内部の日付、時間等がズレた場合は設定してください。



キーを押し、



キーでカーソルを

```
PRM  SEL  MZ-T2M2
      [BCR]
      [NW]
Ver5. 1. 0. 2 > [DATE]
```

[DATE] に合わせて



キーを押します。

変更箇所へ



キーで < > を移動して

```
DATE <2011>/02/01
TIME                12:00:00

YEAR : ■
```



キーを押します。

YEAR : 2012を入力し、



を押します。

```
DATE <2012>/02/01
TIME                12:00:00

*****  END  *****
```

変更が完了したら



キーを押します。

***** END *****の表示になりますので

リセット

キーを押して初期画面に戻してください。

【ディレクトリ変更】出荷時=0 (USB)



キーを押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら
変更したいディレクトリの No.を入力してください。

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		

【パラメータ】出荷時=DEFAULT

通信パラメータは4種類設定済 (変更可)

	ボーレート	ストップビット	キャラクタ長	パリティ	コード
1. DEFAULT	4800	2	8	なし	ISO
2. USER096	9600	2	8	なし	ISO
3. USER192	19200	2	8	なし	ISO
4. USER384	38400	2	8	なし	ISO

マザトロール (CMT) 仕様

5. MZ-T1M1	4800	51=T	52=00	53=0	54=0	55=4
6. MZ-T2M2	4800	51=M	52=00	53=0	54=0	55=4

【USBメモリのフォーマット形式】

使用できるUSBメモリのフォーマット形式はFAT/FAT32です。

FAT	ファイル本数	最大512本	最大容量4GB
FAT32	ファイル本数	最大約65535本	最大容量2TB
	但し、1ファイル=4GBまで		(論理値です)

*USBメモリの種類により、再起動が必要なものや使用できないものがあります。

*NTFS、exFATは使用出来ません。

USB び〜太郎 パラメータ設定

Ver 5. 1. 3. 6

0	表示用パラメータ名	DEFAULT	DEFAULT、 USER9600、 USER19200、 USER38400 マザートルール(CMT)仕様: MZ-T1M1、 MZ-T2M2
1	COMポート	1	1=COM1、 2=COM2
2	ボーレート	4800	1200~38400bps
3	ストップビット	2	1=1ビット、 2=2ビット
4	キャラクタ長	8	7=7ビット、 8=8ビット
5	パリティ	0	0=なし、 1=奇数、 2=偶数
6	文字コード	1	1=ISO、 2=EIA、 3=ASCII
7	DC1キャラクターコード	11	11H
8	DC2キャラクターコード	12	12H
9	DC3キャラクターコード	93	13H、 93H
10	DC4キャラクターコード	14	14H
11	NULLの挿入	0	0=NULLを挿入しない、 1=NULLを挿入する 2=NULLをデータの先頭と末尾に 10 文字ずつ挿入する
12	出力時DC1待ち	0	0=DC1を待つ、 1=DC1を待たない
13	ACKキャラクターコード	0	00~FF
14	送信開始インターバル	0	0、 2~
15	入力時DC2待ち	1	0=DC2を待つ、 1=DC2を待たない
16	オートリワインド・繰返し送信	0	0=オートリワインドしない、 1=オートリワインドする
17	出力時CTSによる制御	0	0=DC1/DC3による制御、 1=CTSにより制御
18	入力時RTSによる制御	1	0=DC2/DC4による制御、 1=RTSによる制御
19	入力ファイルマーク	1	0=DC2/DC4でデータを区切りファイルを作成 1=%でデータを区切りファイルを作成 2=区切りコードなしでファイル作成
20	リモートコマンドで“O”の不可	1	0=リモートコマンドでファイル名の先頭に“O”を付加しない 1=リモートコマンドでファイル名の先頭に“O”を付加する
21	データ拡張子	空白	DAT、 NC
22	サブプログラム呼出し	空白	M98P/O、 G22、 CALL、 *- (*=3 キー+文字選択キーを6回
23	DSRの無視	1	0=DSRが“L”でエラー、 1=DSRを無視
24	出力終了時DC3待ち	1	0=DC3を待つ、 1=DC3を待たない
25	% 出力パターン	0	0=そのまま、 1=出力データの先頭に%を付ける 2=出力データの終わりに%をつける、3=出力データの先頭と終わりに%を付け 4=何もしない、 5=出力データの先頭に%+CRLF をつける、 6=出力データ 終わりに%+CRLF をつける、 7=出力データの先頭と終わりに%+CRLF をつ
26	リモートコマンドの開始と終了	28/A9	00~FF
27	ファイル名かオーダー順	0	0=リモートコマンドでファイル名として検索しますし 1=リモートコマンドでオーダー順として検索しますし
28	モニタリング機能(不可)	0	0=有効、 1=無効
29	起動時のオペレーションモー	0	0=Normal、 1=Remote
30	起動時のドライブ設定	0	0-9 0=USB
31	ディレクトリ表示名(DIR1)	DATA-1	DIRキーで呼び出すドライブ1のニックネーム (日本語使用不可)
32	ディレクトリ表示名(DIR2)	DATA-2	DIRキーで呼び出すドライブ2のニックネーム (日本語使用不可)
	省 略	省 略	省 略 (日本語使用不可)
38	ディレクトリ表示名(DIR8)	DATA-8	DIRキーで呼び出すドライブ8のニックネーム (日本語使用不可)
39	ディレクトリ表示名(DIR9)	DATA-9	DIRキーで呼び出すドライブ9のニックネーム (日本語使用不可)
40	プレフィックスの無視	0	0=リモートコマンドでファイル名の先頭の“O”を無視しない 1=リモートコマンドでファイル名の先頭に“O”を無視する
41	ディレクトリパス名(DIR1)	DAT:DATA1	DIRキーで呼び出すドライブ1の実際のパス名 (日本語使用不可)
42	ディレクトリパス名(DIR2)	DAT:DATA2	DIRキーで呼び出すドライブ2の実際のパス名 (日本語使用不可)
	省 略	省 略	省 略 (日本語使用不可)
48	ディレクトリパス名(DIR8)	DAT:DATA8	DIRキーで呼び出すドライブ8の実際のパス名 (日本語使用不可)
49	ディレクトリパス名(DIR9)	DAT:DATA9	DIRキーで呼び出すドライブ9の実際のパス名 (日本語使用不可)
50	入力時区切りコードの変換	1	0=変換しない 1=CR+LFに変換する
51	プロトコル	B	B=プロトコルB
	MAZATROL(対話)データ		M=MAZAK T1以外、 T=MAZAK T1のみ
52	[MZ]コマンド応答データ	00	00=通常
53	[MZ]返送データのバリティ	0	0=なし、 1=バリティ付き
54	[MZ]コマンド応答ディレイ	0	ミリ秒
55	[MZ]コマンド応答タイムアウト	4	秒
56	ネットワーク設定の表示	1	0=表示しない、 1=表示する
57	IPアドレスの設定方法	2	1=自動取得(DOHP)、 2=手動で設定する
58	手動設定時のIPアドレス	192.168.0.100	自局のIPアドレス (出荷時設定)
59	” ネットマスク	255.255.255.0	ネットマスク (出荷時設定)
60	ゲートウェイサーバ	なし	IPアドレス表示
61	ネームサーバサーバ	なし	IPアドレス表示
ホスト名=JBM-USB1、 NCデータフォルダ=JBM-USB-DATA、 パラメータフォルダ=JBM-USB-PARAM			
FTPログイン名 NCデータ=Jbmdata パスワード=なし、 パラメータ=Jbmparam パスワード=なし			

アラーム表

アラーム番号は、どのようなアラームが発生したかを示す番号で【#**】であらわされます。

番号	メッセージ	内 容	処 置
1	System Error	システムエラー 【1】 設定が未定義 【2】 無効な動作モード 【24】 コマンドラインオプションのエラー 【25】 優先順位の変更に失敗 【63】 予期せぬエラー	再起動 再起動 再起動 再起動 再起動
2	No Memory	メモリ異常 【3】 メモリ不足 (バッファ割り当て) 【4】 メモリ不足 (文字列の割り当て)	再起動 再起動 再起動
3	Incorrect	パラメータ異常 【23】 パラメータの記述ミス	再起動 再起動
11	Disk Full	【5】 ディスクに空きがない	リセット
12	No Media	【7】 USBメモリが挿入されていない	リセット
13	SMB Error	【8】 ネットワークドライブへ接続できない	リセット
14	Disk Error	【6】 リマウントできない 【9】 ディスクの異常	リセット リセット
15	Fill Error	【10】 ディレクトリを開けなかった 【11】 ディレクトリの読み込み異常 【12】 ディレクトリを変更できなかった 【14】 ファイルを開けなかった 【15】 ファイルのマッピングエラー 【16】 ファイルの状態が読み込めなかった 【17】 通常のファイルではなかった 【32】 書き込みエラー	リセット リセット リセット リセット リセット リセット リセット リセット
16	Not Found	【13】 ファイルが見つからない	リセット
17	Copy Disable	【27】 許可されていないコピー処理	リセット
21	DSR Drop	【20】 DSRが”L”	リセット
22	Nc Error	【21】 サブプログラム呼出キーワードが空 【22】 データブロックの異常 【28】 入力文字異常 【29】 デコードエラー 【30】 バッファメモリ内に不正な文字 【31】 バッファメモリ内の異常	リセット リセット リセット リセット リセット リセット
23	RS232C Error	【18】 シリアルデバイスがオープンできない 【19】 RS232Cの設定値異常 【26】 フロー制御の設定エラー 【35】 パリティエラー 【36】 フレームエラー	リセット リセット リセット リセット リセット

*リセット=リセットキーを押してください。

*再起動=異常発生の原因を修正してから再度システムを立ち上げてください

*System Error【63】はUSBび〜太郎のオペレーションシステム(OS)が表示するアラームです。
マルチタスクに同時に動作を行っているため稀にこれらのジョブの負荷が大きく限度を超えた場合に発生する事があります。

USBぴ〜太郎の主な仕様

データディスク容量	組込みフラッシュディスク 512MB (データ領域 約470MB)
インターフェース	RS232Cx1 (1200~38400bps) / USBx1
ネットワーク	10BASE-T / 100BASE-TX (FTPサーバ機能、Windowsファイル共有機能、DHCP機能標準組込み)
ディスプレイ	バックライト付き液晶 20文字x4行
キー	ファンクションキー、英数字キー等 (25キー)
機能	データ入出力 (1ファイル / * オールファイルの受信・送信) * FANUC形式 (O番号+4桁でオールパンチ機能の付いている制御装置) 同一ファイルの繰り返し送信 (オートリワインド機能) 1ファイル / オールファイルのコピーと削除 ファイル名表示、プログラム内容表示 (プログラムの先頭から10KB相当) ファイル検索 (Ver5.1~) パラメータ設定 (操作パネルおよびWebブラウザによる設定) ディレクトリ設定 (最大10個のディレクトリを設定可能) サブプロ展開対応 (M98P/O、G22、CALL、*~) マザトロール対話 (CMT) のデータ入出力 対応機種 : (T-1 / M-1 から 640T / 640M) との ロード (入力)、セーブ (出力) 機能に対応します。
電源	電源アダプタ 入力AC100V~AC240V 0.5A
寸法	(D) 40mm x (W) 116mm x (H) 170mm
重量	約800g マグネット足付き
使用条件	温度5~35℃ (保管時 : -10~50℃) 湿度20~80% (結露なし) 強い振動、ガス等がないこと
付属品	USBメモリ x 1 RSケーブル x 1 取扱説明書 防塵カバー
オプション	FANUC専用24V供給RSケーブル (別売り)

* 外観及び仕様、付属品を予告なく変更する場合があります。

* 本書に記載されている用語および製品名は、各社の商標または登録商標です。

免責

ジェービーエムエンジニアリング株式会社は本装置の使用に関して発生した如何なるトラブルや損害についても一切の責任を負わないものとします。

譬えその可能性について事前に知らされていたり発生の原因が本装置と思われる場合も同様です。本装置使用によるリスクはご使用者の側でご負担いただくことになります。

警告

万一、本機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに本機器のスイッチを切り、その後必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。

お客様自身による修理は危険ですので絶対おやめください。
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因になります。

異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、直ちに本機器の電源を切り、電源アダプターを抜いてください。その後、弊社までご連絡ください。

本機器を勝手に改造しないでください。
付属の専用アダプター以外のものをお使いにならないでください。
故障・火災・感電の原因になります。

お客様による改造、修理をされた場合、弊社では修理を受けかねる場合があります。
また、お客様による誤操作、改造、修理をされ事故にあった場合、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

弊社では、本機器の海外でのご利用は関知いたしておりません。
お客様のご責任のもとでご対処ください。

注意

USBび〜太郎は起動（初期表示）してからUSBメモリを挿入してください。
USBメモリの種類によっては電源の再起動が必要なものや使用できないものがあります。
ファイル名の禁則文字 % ¥ / * : ; ? “ < > ‘ . , |

*** 詳細なマニュアルは WEB に記載されています。**

<https://www.jbm.co.jp/products/dnc/>



USBぴ～太郎操作マニュアル Ver5.1.3.6 2023. 5.

ジェービーエムエンジニアリング株式会社

■本 社 〒578-0965 東大阪市本庄西 2-6-23 TEL 06-6744-7331 FAX 06-6744-7431

■大阪支店 ■名古屋支店 ■横浜支店 ■北関東支店 ■東北支店 ■広島支店 ■九州支店 ●US Branch Office (ニューハンプシャー)